

## 問題形式と出題傾向

基本的には例年通りです。

大問は3題です。

I. リスニング (13分程度: 約900語)

★CEFRレベルA2~B1(英検準2級レベル)

II. 論説文 (約800語)

III. 物語文 (約900語)

\*「速読力・内容把握力」だけでなく、「文法力」も問われます。

数学科が大切にしていること

- ① 規則性を見つけること  
⇒ 式や図形の中に法則性、規則性を見つけて表現する
- ② 比べること  
⇒ 等号や不等号で2つの“モノ”を比較する
- ③ 次元をとらえること  
⇒ “モノ”を構成している要素を見つける
- ④ みなすこと(定義すること)  
⇒ 同じものとする + “モノ”に名付けをする

出題傾向

- ・50分 100点満点
- ・歴史分野・地理分野・公民分野、満遍なく出ます
- ・語句記述・文章論述・記号選択などの出題形式
- ・グラフ・表・資料・図の読み取りなど、読解力・分析力も求められます

文章論述問題

- ・毎年3~4題出題
- ・配点高め、部分点あります。
- ・字数指定があることも…  
ない場合は、解答欄の枠内に収まるように書く。

昨年度 得点率40%未満の問題数(割合)

1	歴史	1問	/ 14問中 (7%)
2	地理	4問	/ 8問中 (50%)
3	公民	1問	/ 9問中 (11%)

→ 実は地理で差がついている?  
グラフ・表など、読み取り多数

## 学習の指針

過去問研究+多読+多聴

We hope we will be able to study with you next year.

Good luck, everybody!

数学科の取り組み

- ・数学オリンピックなど競技数学へのサポート  
→ 放課後、定期的にゼミを開講
- ・数学博物館の開設  
→ 幾何の模型や数式を体験できる模型などを展示

今年度の入試について

- ① 解答時間 50分  
→ 大問で5問程度  
・問題の難易度を把握して時間配分を考える
- ② 計算分野、図形分野、数式分野など様々な分野から出題
- ③ 計算力、説明する力、式や図形を見る力を付けておく
- ④ 定規については直線定規のみ(折り畳み式などは不可)  
コンパスも持参すること

単語記述問題

- ・漢字で書くべき所は「漢字で書きなさい」と指示がある
- ・ただし、指示がなくても、**漢字で書けるところは  
漢字で書く**  
ex) モノカルチャー・経済、平治の乱

記号選択問題

- ・2つ以上の組み合わせ形式多数(基本完答)  
正しいもの(誤っているもの)を **2つ選べ、全て選べ**

2023年度 [2] 問4(2)

衆参両議院の権限に関する日本国憲法の規定のうち、**衆議院・参議院の双方に認められている権限**として正しいものはどれですか、①~④から全て選び、番号で答えなさい。

- ① 内閣不信任決議を可決すること。
- ② 緊急集会を開くこと。
- ③ 国政に関する調査を行い、これに関して証人の出頭や証言などを要求すること。
- ④ 憲法改正の発議をすること。

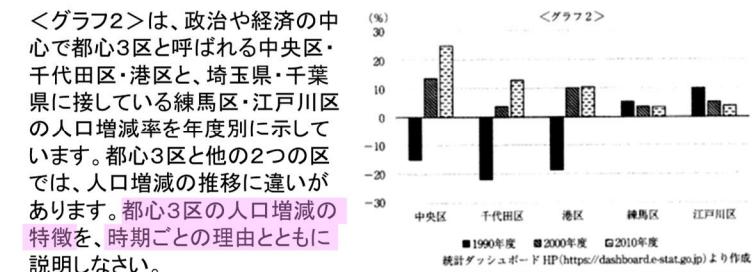
記号選択問題

- ・2つ以上の組み合わせ形式多数(基本完答)  
正しいもの(誤っているもの)を **2つ選べ、全て選べ**

→ 正答率が大きく下がる傾向

正確な知識を、緻密に積み重ねる

2023年度 [2] 問4(2)



「ドーナツ化現象」「都心回帰」というワードは知っていても…  
なぜそのような現象が起こるのか?  
なぜそうになったのか? **背景・理由が求められている**

→ その事象を知っている、用語の説明ができる  
だけでなく、  
その背景まで、疑問を持って考えられる

2024年度入試について

歴史…日本と世界のつながり

地理…世界や日本の自然環境・人口・産業など

公民…経済・憲法など

## 対策

- ・標準的な問題集で基礎用語+典型的な計算問題をトレーニング。
- ・数年分の過去問で慣れる。
- ・記述は、採点者に伝わる正確な語、文章で（部分点はありません）。
- ・問題文をよく読む。
- ・解ける問題から解く。
- ・得意分野で稼ぐ作戦もあり。

## 本文の種類について

- 説明的文章
- 文学的文章
- 古文
- 漢字問題

## 設問について【古文】

- ・細かい文法事項は出題しない
- ・本文全体を正確に把握しているかを問う

## 入学試験の出題意図

一般的な基礎知識、観察・実験の結果から考察し本質を見抜く論理的思考、およびそれらを相手に伝える表現力を問います。



- ・単純に知識を問う問題
- ・計算問題
- ・記述問題
- ・リード文や図表から論理性を問う問題

からなります。

## 以下の力を見ます

- ・読む力=インプット(読み解き)  
→何が言いたいのかを読み取る
- ・書く力=アウトプット(解答)  
→条件にそって答える
- ・知識(漢字等)
- ・限られた時間を意識できるかどうか

## 書き取り問題の注意

- 「美しさ」より「丁寧さ」が大切
- ◎ 採点方法  
文化庁の指針に基づいて採点します  
『常用漢字表の字体・字形に関する指針』

## 出題について

- ・試験時間は50分、100点満点。
- ・大問は4題  
物理分野1 化学分野1  
生物分野1 地学分野1
- ・小問総数は約25題です。

## 問題内容

- ・時間のかかる問題、からない問題は存在します。
- ・実験や観察をもとにした出題が多いです。
- ・各大問、基本→標準→応用となります。
- ・標準レベルの出来が決め手となります。
- ・問題文量は昨年並みです。

### 大問2 (2)

【実験2】と同じ気体が発生する操作をすべて選びなさい。（注：実験2と同じ気体…二酸化炭素）

- ア 亜鉛にうすい塩酸を加える。  
イ 重そうにうすい塩酸を加える。  
ウ レバーにうすい過酸化水素水を加える。  
エ 塩化アンモニウムに水酸化ナトリウムと少量の水を加える。  
オ 卵の殻に食酢を加える。  
カ 過炭酸ナトリウムに湯を加える。

## 設問について【記述】

- 100字以下の記述問題を出題予定
- ・対策：記述の解き方を把握しよう  
ポイントは2つ  
    - 本文中から答えとなる文を発見しよう
    - 記述すべき事柄は必ず複数ある
  - ・記述問題は部分点あり→ 必ず挑戦を！

## 最後に

- ・時間配分が大切  
→訓練として過去問題を活用

皆さんの健闘を祈っています！

## 設問について【選択肢】

選択肢の問題を多く出題する  
選択肢の字数が多い

- ・対策：選択肢の解き方を把握しよう  
ポイントは2つ  
  - 本文中から答えとなる文を発見しよう
  - 選択肢を分割して考えてみよう